

# オープンハウス 2018

一般公開

申込不要/参加費無料

2018.12.22(土)  
13:00-15:45

開場(受付開始) 12:30

会場 国立国語研究所

〒190-8561  
立川市緑町10-2

所員がどのような研究をしているのかを専門外の方や学部・大学院の学生にわかりやすく伝えることを目的として、研究所オープンハウスを実施します。国立国語研究所の創立70周年および、人間文化研究機構移管10周年の記念事業の一環として実施します。

## 研究内容

13:00-15:00

### 全教員・特任研究員による 研究活動紹介

●ポスター説明時間 13:00-14:00/14:00-15:00  
1時間ずつ交代で担当教員が内容説明をします。

## 同日開催

シンポジウム 15:00-18:00

### 「フィールドと文献から見る 日琉諸語の系統と歴史」

会場：国立国語研究所 講堂

シンポジウム 15:00-18:00

### 「経年調査の新たな挑戦 —日本語の将来を占うために—」

会場：国立国語研究所 多目的室



## 研究図書室 見学ツアー

15:15-15:35

受付時に整理券を配布します。

国立国語研究所研究図書室は、日本語学、言語学、日本語教育、及び関連分野の文献・資料を収集・所蔵している全国で唯一の日本語に関する専門図書室です。ツアーでは、普段ご覧になれない閉架書庫や貴重書庫にもご案内します。



# 研究活動紹介 ポスタータイトル

- 疑問文の文末音調による類型論の試み
- 方言の記録と継承による地域文化の再構築
- 消滅危機言語の再活性化
- 日本の消滅危機言語・方言の記録とドキュメンテーションの作成
- 聴覚補助器による非言語・パラ言語情報の伝達性能を評価する尺度の構築
- 消滅危機言語・方言の展示を通じた最先端研究の可視化・高度化
- 「埋もれた声」を蘇生し、分析する — 日系社会の日本語記述に向けて —
- 方言談話にみられる間投表現の地域差
- 『日本言語地図』をデータベース化する：特徴と利用
- 方言の条件表現
- 琉球諸語を対象とした稀少な音声の記述\*
- 南琉球八重山波照間方言の記述研究\*
- 自力で奄美語を調査するためのマニュアル作成\*
- 日本語学習者の読解調査に基づく「読む」ための文法の開拓
- 日本語学習者の作文執筆過程の自己修正
- 会話から人間を探る！悪態と慇懃無礼、どっちがポライトなの？  
— BTSJ自然会話コーパスの分析とその教材化 —
- 日本に居住する外国人の多言語使用の諸相 — 在日パキスタン人コミュニティを事例に —
- 地域に定住する外国人の日本語使用と 言語生活に関する研究  
— 約10年間の縦断調査の結果を踏まえながら —
- 日本語教育のための学習者コーパス(I-JAS) の構築と研究
- 日本語方言の呼びかけイントネーション
- 機能表現のレキシカルプロファイリングの手法と検索インターフェースの開発\*
- 動詞の意味構造：移動動詞に関する通言語的実験研究
- コーパスを使った日本語の歴史の研究
- 外来語ウォッチング — 定着度を追跡する —
- 渡来作物の方言と歴史
- ことばと社会とココロの関係
- 人名・地名の文字とユニコード
- 言語記事データベースについて
- 語誌ポータル構築\*
- 精緻な表記情報を付与した近世版本コーパスの構築とその展開
- 日常生活に見られることばの使い分け
- リアルタイムMRI動画で見る日本語の調音運動
- 用例分析に基づく国語辞典情報の見直し
- 観察支援システムFishWatchrで実習活動の観察・振り返りをしてみよう！  
— 発表練習、ディスカッション練習を例として —
- テキストの読みやすさについて
- 日本語言語資源包括的高度共同利用環境の整備
- 発話末予測に関わる音声・言語特徴
- UniDic — 短単位辞書データベースと形態素解析用辞書 —